

12月2日(土)、平成11年7月の開館以来、7年5ヶ月 で入館者50万人を達成しました。

50万人目に来館されたのは、普段からよくご家族で図 書館を利用して〈ださっている黒崎知さんでした。この日 もご家族3人で来館されました。黒崎さんには50万人目 の記念として、記念品と花束が贈られました。

入館者50万人という数字は、隠岐の島町民17,000 人が1人当たり30回利用したことになります。

ここ2ヶ月は昨年に比べ、入館者・貸出人数・貸出冊数 ともに大幅に増加しています。イベントや展示など、様々 なことに力を入れてサービス向上を目指している結果が 少しずつ表れてきているのでは・・・と嬉しく思います。

これからもよりよい図書館を目指して頑張っていきます のでよろしくお願いします。

↑入館者50万人目の黒崎さんとご家族

クリスマス会

12月16日(土)午後3時から研修室でクリスマ ス会を開催しました。

『あわてんぼうのサンタクロース』の歌で始まり、 大型絵本の読み聞かせや、エプロンシアターなど を楽しんだあとは、オリジナルのクリスマスカード を作りました。

会の終わりにはサンタクロースも登場し、子ども たちはプレゼントをもらい嬉しそうでした。

毎年クリスマス会への参加者は多いのですが、 今年は例年以上で、100名を越える参加があり ました。



ボランティア の方による大 型絵本の読み 聞かせ

12月21日(木)午後7時から雑誌コーナーで クリスマスミニコンサートを開催しました。

クラリネット奏者に隠岐高校の細木千裕先生、 キーボード奏者に隠岐高校2年生の冨田涼子さ んをお迎えし、有名なクリスマスソングを中心に 演奏していただきました。

また、生演奏をバックミュージックにして、クリス マスにちなんだお話を2つ朗読しました。読み聞 かせボランティアの高梨洋子さんと職員の曽田が ひとつずつお話をしました。

図書館でコンサートという初めての試みでしたが 予想を大き〈上回る60名近〈の方が聴きに来られ、 みなさんとても満足して帰られました。

照明を落とし、キャンドルとイルミネーションのほ のかな明りだけの会場は、クリスマスの雰囲気で いっぱいでした。

バレンタインコンサートも企画したいと思います。 お楽しみに!!

発行: 隠岐の島町図書館

隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二.17

TEL2-2341 FAX2-9198

の代を値えていただきました

図書館をよく利用されている方が、花壇にお花を植えてくださいました。 この季節、どうしても殺風景になってしまう花壇がポッと暖かくなりまし た。ありがとうございました。

よりよい図書館を・・・と思って〈ださる利用者の方がた〈さんいらっしゃ るので、とても励みになります。



展示コーナー

むかしの卒業証書・辞令書展~釜・佐々木家より

ただ今、展示コーナーでは明治・大正時代の 卒業証書や辞令書などを展示しています。 めったに見られないものですので、この機会 にぜひごらんください。

今月の特集

笑う門には福来たる~一年の始まりを笑いで~

今月の特集コーナーでは、笑いに関する本 を紹介しています。

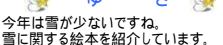
2007年の読書始めにいかがでしょうか。

こんげつのえほん









ご迷惑をおかけ しますがご了承 ください。



蔵書点検により 1月21日(日)から 1月27日(土)まで 休館いたします

蔵書点検とは・・・図書館にある本と コンピュータ内のデータを照合して、 実際にその本があるかどうかを確認 していく作業です。また、本が決めら れた場所にきちんとあるかも確認す る年に一回の図書館総点検の期間 です。

利用者の皆様がお求めの 資料を確実に提供していく ために必要な作業です。

図書館職員なみの本 今月は高井が紹介します。

『人は見た目が9割』 竹内 一郎 新潮社新書

タイトルを見て思わず手に取ってしまった一冊 です。

この本は「ノンバーバルコミュニケーション(言葉 以外の伝達)」について書かれている本ですが、 扱っている題材が日常的なので、とてもわかり易 〈て読みやすい本です。

コミュニケーションの主役は言葉だと思われが ちですが、他人から受け取る情報の割合は、顔 の表情が55%、声の質や大きさ、テンポが38% 話す言葉の内容が7%だとか・・・。

「人は見た目で判断するな」とはよく言いますが

どうしたって見た目に左右されてしまうものです。 マンガや図も使って説明してあるので、堅苦しい 本はちょっと・・・という方にもオススメの一冊です。

こころ温まる冬のひとコマ

ある日、おはなしの部屋で小学校 高学年の女の子が、小さい妹たち に絵本の読み聞かせをしていると ころを目にしました。そのうちに 他の子どもたちも仲間に入り、小 さな【おはなしかい】が始まりま した

とても微笑ましい光景でした。

